

飲食料品の取扱い(販売)がある事業者の方へ



軽減税率制度に対応するため、次の事項をチェックしてみましょう

ステップ 1 軽減税率制度の内容の確認

- 軽減税率制度の実施時期、軽減税率の対象品目、仕入税額控除のための帳簿及び請求書等の記載事項、納税事務（税額の計算）
 - ※ 全国の税務署等で、事業者の方々に対する説明会を開催しておりますので、ぜひご参加ください。
- 事業者の準備を支援する仕組み：「軽減税率対策補助金」

ステップ 2 対応するための準備

- 影響が生じる事務の確認及び業務手順の見直し
- 現行の帳簿及び請求書等の記載の仕方から区分記載請求書等保存方式（※）への対応
- 会計システム等の導入・改修・入替え
- 軽減税率制度に対応したレジの導入・改修、受発注システムの改修・入替え及び請求書管理システムの改修等（「軽減税率対策補助金」の活用を検討）
- 軽減税率対策補助金の交付申請手続（一部ベンダーなどによる「代理申請制度」の利用が可能です。）

※ 令和元年10月1日から令和5年9月30日までの間は、仕入税額控除の適用を受けるため、区分経理された帳簿及び区分記載請求書等の保存（区分記載請求書等保存方式）が要件とされます。

ステップ 3 売上・仕入商品の税率区分

- 売上・仕入商品に係る税率区分（軽減税率の対象取引の有無）の確認

ステップ 4 業務手順の見直しやレジ・システムの操作確認

- 日々の商品管理や販売管理方法の見直し（商品マスタの見直し）
- 税率区分に応じた経理処理の見直し（経理処理マニュアルの整備）
- 納品書や請求書などの帳票の見直し（取引先との連絡・調整）
- 買換え又は改修したレジ・受発注システムの操作確認

ステップ 5 制度の実施に向けた本格的な準備

- 商品ごとの税率区分等をシステムに登録（商品マスタの整備）
- 値札の付け替え、価格表示の変更準備（経理処理マニュアルの整備）
- 従業員への研修（説明会等への参加）、店頭などでの消費者向けの周知（店頭ポスターなど）